

大津市立日吉中学校及び日吉子どもサミット

活動テーマ

安心・安全な生活環境の構築 ～日吉版 SDGs にチャレンジ～

実践事例について

日吉中学校区内には4小学校2中学校（1校は私立）がある。この6つの学校の児童会・生徒会で構成された日吉子どもサミットが中心となり、6小中学校が共同で参加し、実践している地域の環境保全活動がある。日吉台学区は「花の街づくり」、下阪本学区は「下阪本クリーン作戦」、坂本学区は「坂本ふるさと大掃除」、雄琴学区は「雄琴ヨシ刈り」が各学区メインの活動である。特に、琵琶湖周辺に位置する下阪本と雄琴の活動の際には、シジミやフナの稚魚の放流が行われている。さらに、そういった水生生物が生息できる環境になっているかを検証するために、地域の河川の水質調査も実施している。しかし、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により様々な活動内容を再検討し、試行する年となった。今年度は昨年度検討した事柄について、再度具体的に検討し実践を行った。

1. 「日吉子どもサミット」について

日吉子どもサミットは、平成2年に日吉ブロックの4小学校2中学校の児童会・生徒会の子どもたちがリーダー研修の場として集まり、何か一緒にできることはないかと考え、結成された。日吉子どもサミットの活動を通じて自分の意見を述べたり、行事を企画・運営したり、地域ボランティアに取り組むなど、社会性を育むことが目的である。

最近では地域の安全マップを作り、子ども目線での地域の課題を地域の方々に発信し交流することで自分たちの暮らす地域をよりよくする活動につなげてきた。今までの「アルミ缶回収」や「地域ボランティア」に継続して取り組む上で、新たな取り組みを試みたり広報活動をさらに強化したりしながら、多くの児童・生徒と一緒に活動できるように考えている。



数年前までは、総括と反省で出た意見をいかして、地域の安全マップを作り、子ども目線での地域の課題を地域の方々に発信し交流することで、自分たちの暮らす地域をよりよくする活動につなげてきた。今まで「アルミ缶回収」や「地域ボランティア」に継続して取り組む上で、「吉鳥のPR」などの広報活動を強化し、多くの児童・生徒と一緒に活動できるようにと考えられてきた。「日吉はひとつ」をキーワードに、日吉ブロックの子どもたちの現状と課題について考え、ブロックで共通して取り組めることを毎年検討している。

しかしながら、一昨年度からの新型コロナウイルス感染拡大により昨年は、活動の原点である「アルミ缶回収」の取り組みや各地域でのボランティア活動への参加が難しい1年であった。今年度は、昨年度検討されたコロナ禍での活動を再検討しながら「安心・安全な生活環境の構築」～日吉版 SDGs にチャレンジ～をテーマに、新たな取り組みにも挑戦している。これまで送ってきた学校生活や家庭・地域での生活様式がこの一・二年で大きく変化した。今年度は学校や家庭、そして地域で、安心・安全にまた、健康的に生活を送るために、自分たちにできることについてより一層考えを深め、交流し、実践へ移す、という思いで取り組んだ。

2. 今年度の活動テーマと基本方針

・活動テーマ：「安心・安全な生活環境の構築」
～日吉版 SDGs にチャレンジ～

・基本方針：

- ①日吉ブロックの児童会、生徒会の児童生徒がボランティア活動を通して友好を深め、地域内のリーダーとして活躍できる場とする。
- ②サミット会議を開き各校の活動を交流することで互いの活動を理解し、よりよいところを吸収し、各校の学校づくりに生かす。

3. 今年度の活動

◀●はメインの環境保全活動▶

実施状況

- 年間3回の日吉子どもサミットの開催
 - ・第1回日吉子どもサミット
 - ◆6月24日（司会：日吉台小学校）
 - ◇各校での取り組み紹介・交流
 - ◇アルミ缶回収活動代替活動のアイデア交流



- ・第2回日吉子どもサミット
- ◆8月23日 (司会：坂本小学校)
- ◇各校での取り組みについて(中間報告)
- ◇SDGsについての学習会(担当：比叡山中学校)
- ◇ロシアによるウクライナ侵攻について考える(担当：日吉中学校)
- ◇地域の方々との意見交流

- ・ウクライナ支援・募金活動
- ◆1月12日
- ◇3駅(JR比叡山坂本・おごと温泉、京阪坂本比叡山口)での一斉募金を各学校ごとの募金活動とあわせて実施。

- ・第3回日吉子どもサミット
- ◆1月17日 (司会：日吉中学校)
- ◇今年度の活動報告
- ◇ウクライナ支援に関わる募金活動の報告
- ◇「しがウクライナ避難民応援支援金」への募金
- ◇滋賀県総合企画部国際課・滋賀県国際協会の方によるお話

○人権を考える大津市民の集い

- ・夏の集い：各学区での開催
- ・秋の集い：Youtube 配信
10月22日～11月20日
- ・春の集い：2月18日(土)

●日吉台花の街づくり(6月11日/11月12日)

- ・日吉台小学校、日吉中学校を中心に地域の方々と協力して日吉台学区入り口、市民センター前、小学校前に季節の花を植える。その後の草引き等の手入れも実施。



●下阪本クリーン作戦(12月3日)

- ・下阪本小・日吉中学校の児童生徒が、地域の方々と琵琶湖岸の清掃活動を実施し、地域の方々の協力で引き続きシジミの放流も行うことができた。



●坂本ふるさと大そうじ(12月22日)

- ・日吉大社参道の清掃活動を、坂本小学校、比叡山中学校、日吉中学校の児童生徒を中心に地域やPTAの方々と協力して実施した。



●雄琴ヨシ刈り・フナ放流(1月28日)

- ・雄琴小学校、日吉中学校、地域の方々や大津市、企業のボランティアと協力して、ヨシ刈りを行った。また、児童の環境保全宣言やフナ放流を実施した。

各校の取り組み

○日吉台小学校【花の街づくりに向けて】

- ・ポスターの掲示をしたり、児童会の生徒が各教室に行き説明を行ったりした。また、前日に放送で呼びかけた。



○下阪本小学校【下阪本クリーン作戦に向けて】

- ・各クラスにポスターを作成し掲示、プリント配布
- ・代表委員会での周知
- ・各戸および地域へのお知らせ作成と配布
- ・「ハッピータイムズ」(広報新聞)の記事にして各クラスで掲示
- ・校内放送6回実施(給食時)
- ・当日、執行部の児童が環境宣言を行う

○雄琴小学校

【ペットボトルキャップで世界を守ろう】



捨てるはずのペットボトルキャップを回収し、何かの役に立てたいという思いから、取り組みが始まった。周知や回収の方法を運営委員の児童で話し合い、活動を進めた。

児童だけでなく、教職員からも集まり、予想を大きく上回るペットボトルキャップを回収することができた。

○坂本小学校【坂本ふるさと大掃除】に向けて

- 企画 JRC 委員会による放送での告知
- 坂本ふるさと大掃除への参加
- 企画 JRC 委員会によるペットボトルキャップの回収
- 環境委員会による草引き大会の実施



○比叡山中学校

- 坂本ふるさと大掃除への参加
- ボランティア委員による雑巾づくり 真盛園へ贈呈
- 使い捨てカイロ回収
- ウクライナ支援のための校内募金活動



○日吉中学校

- 駅前に花を飾ろう運動(環境委員会)
(比叡山坂本駅前にプランター設置)



- 環境保全活動への参加と呼びかけ
(ポスターや放送等の広報活動の強化、誘い合い運動)
- あいさつの花(あいさつ運動)
- 水生生物の観察による水質調査



- 地域の方々とともに戦争について考え、意見を交流する場を設定することにより、地域の方々の戦争への思いや体験談を聞くことができ、より学びを深めることができた。

課題

- 対面での活動は再開したものの、まだまだコロナ禍ということもあり、会議については参加人数を制限しての開催となった。次年度は、生徒会・児童会のメンバー全員が集まって会議を行うことが期待される。
- 地域の方との協議会については、感染症対策を行った上で、再開することができたものの、受け継がれていた食事会を行うことは断念せざるを得なかった。

今後の展開と方向性

- 各校での児童・生徒会の取り組み紹介を継続
- アルミ缶回収活動に替わる社会貢献活動の試行 キーワード「日吉版 SDGs」
(ペットボトルキャップ・カイロの回収によりリサイクルに貢献)
- 小学生と中学生がともに学び合い、高め合える活動の企画



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



4. 成果と課題

成果

- 昨年度、コロナ禍においてオンライン会議等で検討し、各校で試験的に取り組んできた活動を日吉子どもサミットとして全体で取り組むことができた。
- 比叡山中学校による SDGs の学習会や日吉中学校によるウクライナ情勢についての解説など、中学生から小学生が学ぶ機会を設けることにより、ともに学び合うことができた。

学校名	大津市立日吉中学校
住所	大津市下阪本六丁目 38-26
電話番号	077-578-0056
E-mail	hiyosi@otsu.ed.jp